

日本変える発想を

沖振審議会

山根一真氏が指摘



科学技術の振興や人材育成などについて議論した第7回沖縄振興審議会総合部会専門委員会＝沖縄総合事務局

2012年度以降の新たな沖縄振興の在り方について検討する沖縄振興審議会総合部会専門委員会の第7

回会合が2日、沖縄総合事務局であり、科学技術振興や人材育成などについて議論した。

基調発言でノンフィクション作家の山根一真氏は、「沖縄が日本を変えるという発想から計画を作ることが大事」と提言。同審議会委員の開梨香氏は、教育環境改善に向けた一層の支援が必要と訴えた。

山根氏は格差是正に主眼を置いてきた沖縄振興の在り方について「今の国に本当にそんな力があるのか。国そのものかなり衰退している中、沖縄が日本を救う、変えるという発想から計画を作ることが大事だ」と主張した。

一方、開氏は、国際交流人材育成事業を継続し、過去の留学生らのネットワークを構築、充実させていく必要性を訴えた。

また学校教育の問題については、広大な海域に点在する小規模離島を抱える特殊性などを挙げ、「教育環境改善に向けた一層の支援が必要」と強調。児童・生徒の大会派遣旅費負担の軽減や、給付制奨学金を含む制度の充実、総合的な子育て支援などを要望した。